



株主のみなさまへ

第61期報告書 [2015年4月1日~2016年3月31日]



株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694



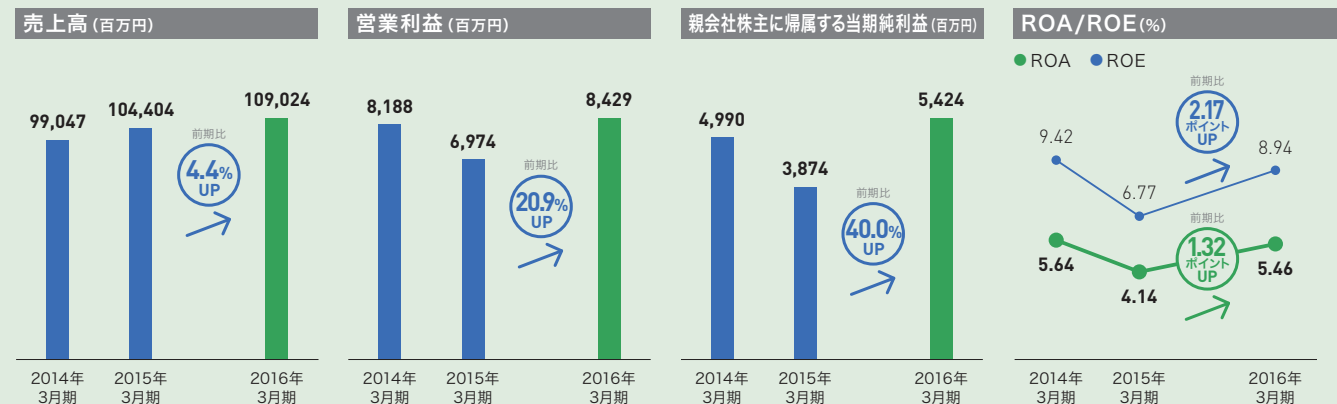
医療界に信頼され 選ばれる企業をめざす

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃よりBMLグループに格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第61期報告書(2015年4月1日～2016年3月31日)をお届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 近藤 健介

財務ハイライト



当期における事業環境は、2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引き下げはなかったものの、激しい業者間競争が続いていることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

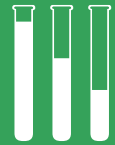
こうした環境の中、当社の業績は売上高1,090億24百万円(前期比4.4%増)、営業利益84億29百万円(前期比20.9%増)、経常利益88億30百万円(前期比17.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益54億24百万円(前期比40.0%増)となりました。臨床検査事業の売上が堅調に推移したことから、業者間競争による価格下落や首都圏ラボを中心とした人員・設備の増強等に伴う経費増加を吸収し、前期比で増収増益となり、売上、利益ともに過去最高を更新しました。

2016年度は、『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』をビジョンとした第6次中期経営計画(2015年度～2017年度)の2年目となります。引き続きこのビジョンの実現に向け、「品質・サービスの向上」にBMLグループ一丸となって邁進していく所存でございます。株主のみなさまには、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

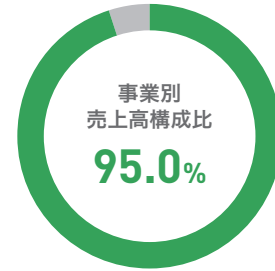


目次

- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 5 特集
- 7 連結決算の概要
- 9 株式の状況
- 10 会社概要



検査事業



事業内容

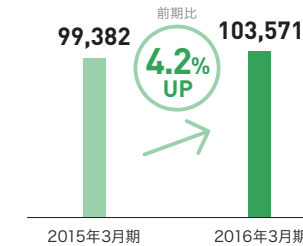
- ・臨床検査
- ・食品衛生検査
- ・治験検査
- ・環境検査

臨床検査をメインに、関連事業として治験検査、食品衛生検査、環境検査などを行っています。

業績

連結売上高

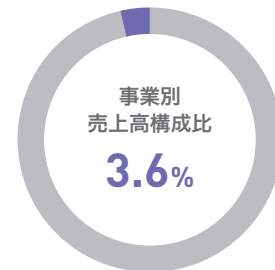
103,571
百万円



➤ クリニック市場の開拓強化を図るとともに、大型施設への提案営業、既存ユーザーへの深耕営業を進めた結果、増収となりました。また、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング事業が順調に推移しました。



医療情報システム事業



事業内容

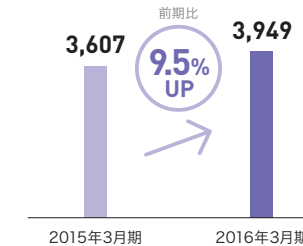
- ・電子カルテシステム - 開発・販売
- 保守サービス

診療所版電子カルテシステム「クオリス」と「メディカルステーション」の販売・保守を行っています。

業績

連結売上高

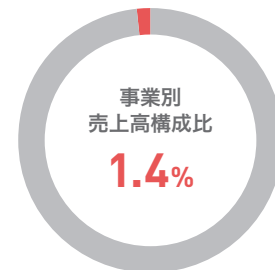
3,949
百万円



➤ 診療所版電子カルテ「クオリス」と「メディカルステーション」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレースを推進し、増収となりました。



その他事業



事業内容

- ・調剤薬局
- ・SMO

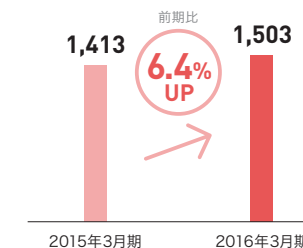
※ SMO: 特定の医療機関(治験実施施設)と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関

調剤薬局事業とSMO事業を行っています。

業績

連結売上高

1,503
百万円



➤ (株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が伸びたことにより、事業全体では増収となりました。

より多くのお客さまに
最高水準の検査技術の提供を可能にする

ラボネットワーク

116ヶ所に及ぶ集配拠点

BMLでは、迅速かつ確かなサービスを提供できるように、日本全国に業界最大規模のサービスネットワークを張り巡らせています。さらに、約1,600人の専属集配スタッフが対応することで、ご依頼いただいた検体は迅速に当社近隣ラボに搬入し、データの経時変化を防止、品質・精度管理を徹底しています。

BMLのラボネットワーク

BML総合研究所だけでなく、全国の地域ラボを含めた均一な管理体制を構築し、グループ丸となって品質保証及び精度管理を推進しています。

グループ一貫で
推進する
均一な精度管理

お客さまの
満足度を高める
顧客対応の
標準化

ISO15189
国際規格の
品質と技能

検査工程の
自動化が
可能にした
速さと正確さ

世界にも類を見ないオートメーション検査システムの導入により、迅速化と精度向上を実現。正確な検査結果をより速くご提供しています。

知識・技能に
習熟した
専門スタッフによる
業務

きめ細かな人材教育計画のもと、確かな知識と技能を有する専門スタッフを育成。信頼性の高い検査結果の提供を実現しています。

さまざまなお問い合わせを集中的に処理・管理するインフォメーション体制を構築。クレームや不適合などにも、素早く対応しています。

全国統一された基準値

BML総合研究所が有する最高基準の技術をより多くのお客さまに提供するために、グループ会社と連携して「ラボネットワーク」を形成しています。作業の標準化、統一化された機器・設備の導入等により、全国統一基準値にて信頼性の高いデータ報告を可能としています。

全国
78拠点
の
ラボを運営

- BML本社
- BML総合研究所
- 地域ラボ (グループ会社含む)



(株)第一岸本臨床検査センター [札幌]



(株)盛岡臨床検査センター [盛岡]



(株)岡山医学検査センター [岡山]



BML総合研究所 [埼玉]



(株)QOLセントラルラボラトリーズ [福岡]



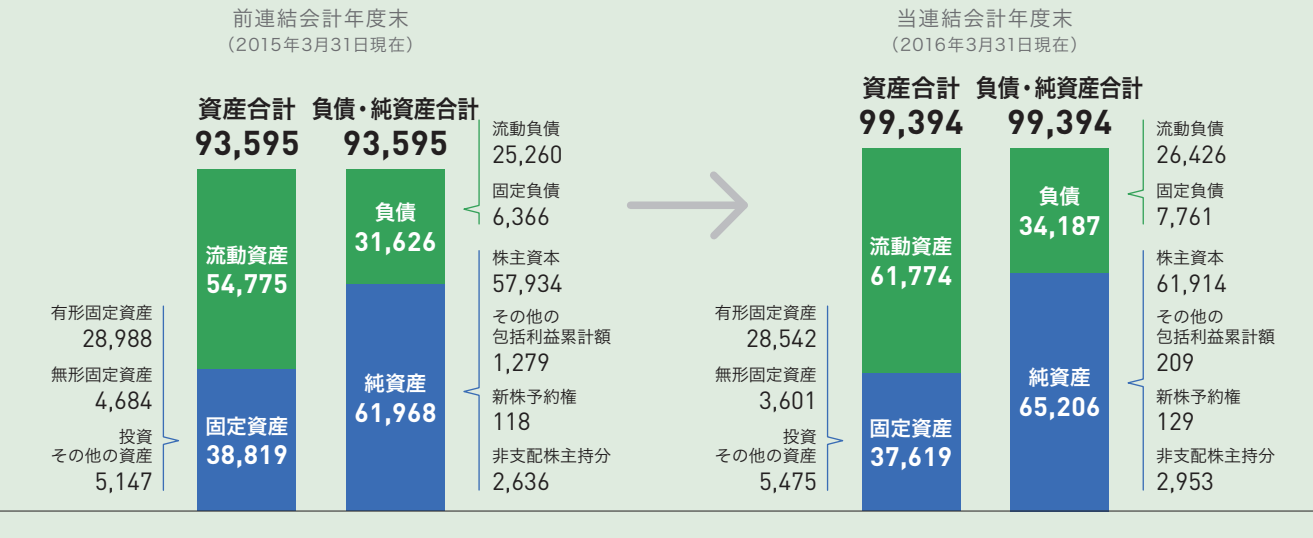
(株)オー・ビー・エル [大阪]

首都圏ネットワークの充実

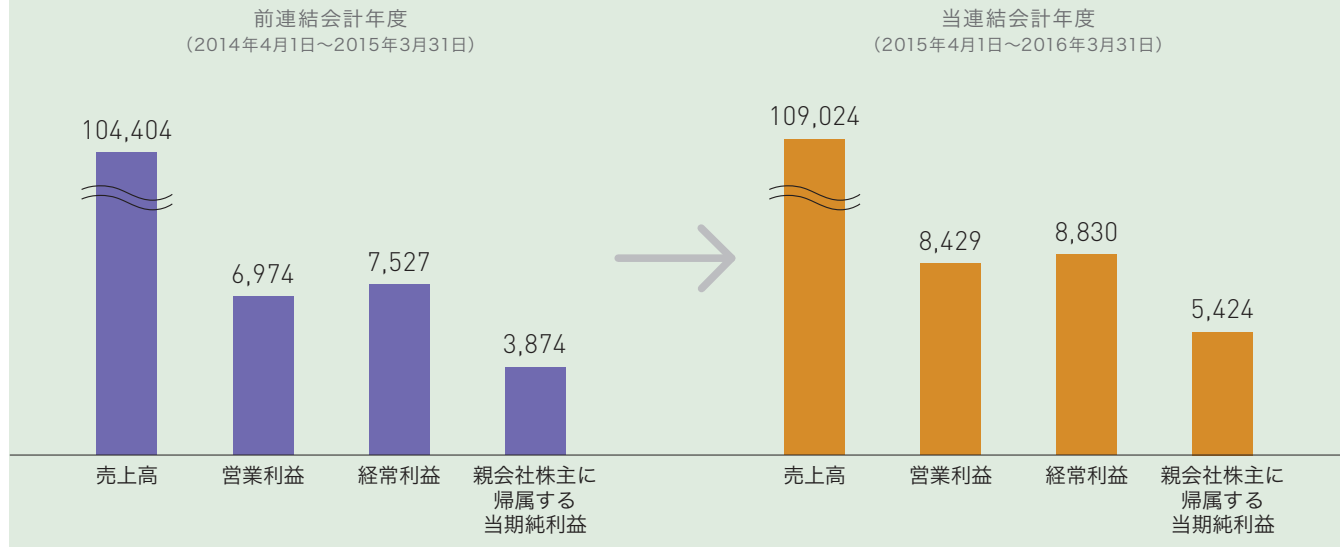
首都圏に11ヶ所のラボを配置し、各ラボで検査に対応しています。災害時にも近隣のラボにて緊急検査を実施。各ラボによる相互バックアップ体制を構築しています。



連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



POINT

➤ 資産

現金及び預金が増加したことなどにより、993億94百万円(前期末比57億99百万円増)となりました。

➤ 負債

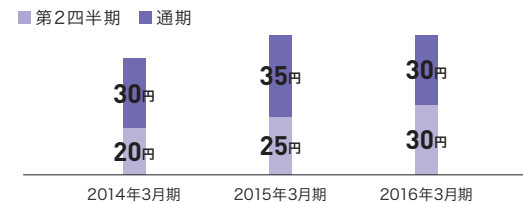
流動負債で支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、341億87百万円(前期末比25億60百万円増)となりました。

➤ 純資産

利益剰余金が増加したことなどにより、652億6百万円(前期末比32億38百万円増)となりました。

配当について

当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けたく、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の期末配当は30円とし、中間配当の30円と合わせ年間では、前期と同じ1株当たり60円の配当となります。



POINT

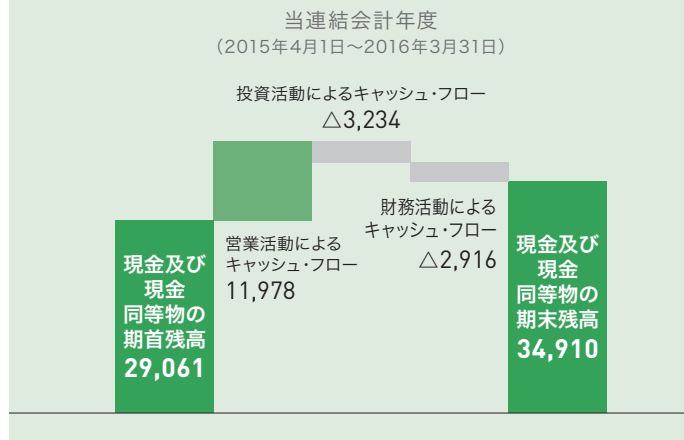
➤ 売上高・営業利益

臨床検査事業の売上が堅調に推移したことから、前期比で増収増益となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

➤ キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、119億78百万円の資金収入(前期比4億83百万円収入増)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、32億34百万円の資金支出(前期比13億51百万円支出減)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは29億16百万円の資金支出(前期比1億10百万円支出増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



※非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行済株式の総数 22,007,363株

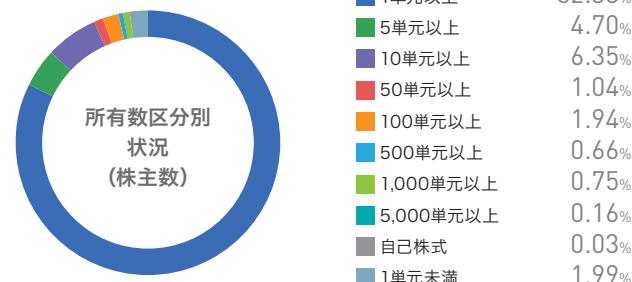
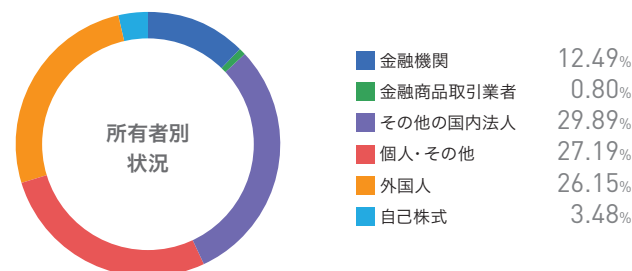
単元株式数 100株

株主数 3,763名

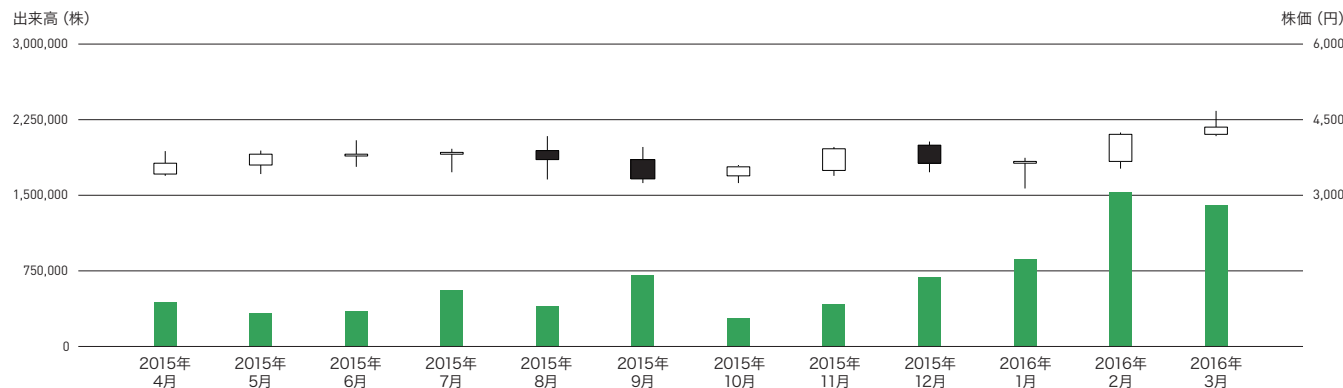
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ビー・エム・エル企画	3,590	16.31
近藤健次	2,217	10.08
近藤健介	1,475	6.71
有限会社エステート興業	1,389	6.32
大塚製薬株式会社	1,000	4.54

株式分布状況



株価チャート



会社概要 (2016年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社ビー・エム・エル
(英名 BML, INC.)

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL: 03-3350-0111(代表)
<http://www.bml.co.jp/>

BML総合研究所 埼玉県川越市市場1361-1
TEL: 049-232-3131(代表)

設立 1955年7月

資本金 60億45百万円

従業員数 4,673名(連結)

事業内容 臨床検査の受託業務等

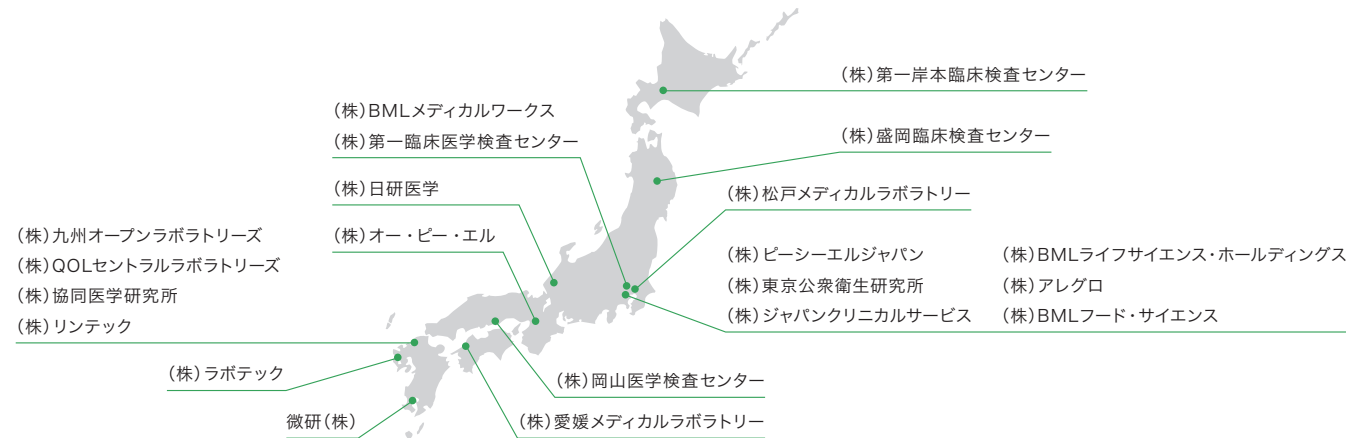
公告掲載URL <http://www.bml.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

役員及び執行役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役最高顧問	近藤 健次	社長*	近藤 健介
代表取締役社長	近藤 健介	専務執行役員*	大塚 敬
代表取締役	大塚 敬	専務執行役員*	荒井 信貴
取締役	荒井 信貴	常務執行役員*	山下 勝司
取締役	山下 勝司	常務執行役員*	千喜良 真人
取締役	千喜良 真人	常務執行役員*	中川 雅夫
取締役	中川 雅夫	執行役員*	乗附 厚司
取締役	乗附 厚司	執行役員*	榎本 聡
取締役	榎本 聡	執行役員*	武部 憲尚
取締役	武部 憲尚	執行役員	須田 英也
社外取締役	山村 敏夫	執行役員	山口 敏和
社外取締役	山本 邦克	執行役員	加瀬 尚澄
常勤監査役	是安 俊之	執行役員	奈良部 安
社外監査役	齋藤 敏雄	執行役員	大沢 英明
社外監査役	加々美 博久		

*社長及び取締役計9名は、執行役員と兼務になります。

グループ企業





株主優待制度はじめました

株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社への投資魅力を高めより多くの株主のみなさまに長期的に当社株式を保有していただくことを目的としております。

◆株主優待制度の内容

(1)対象となる株主さま
3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主さまを対象といたします。

(2)株主優待の内容
次のとおり贈呈いたします。
保有株式数:100株
優待内容:クオカード 3,000円分

(3)贈呈時期
毎年6月の定時株主総会開催後の発送を予定しております。

◆株主優待の開始時期

2016年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまを対象に開始いたします。



2016年6月29日現在

株主メモ

決算期	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会権利行使株主確定	3月31日
	株主配当金受領株主確定	3月31日
	中間配当金受領株主確定	9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 (〒103-8202) 株式お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。 URL http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html	

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(※)にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行(※)へお申出ください。
- (※) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・郵便物送付先) 日本証券代行株式会社
東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-8620)
0120-707-843(フリーダイヤル)